

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 002	提案機関名 畜産課
要望問題名 OPUに係る移植可能胚の生産性向上	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 現在OPUに係る実証試験等を行っている中で、技術的に多くの卵子が回収されている。 しかし、採取された卵子は、体外環境下における成熟と受精、培養までの過程において、移植可能な胚盤胞で成長しない卵子が多いため、最終的に利用できる胚は少なくなっている。 そこで、OPUで採取した後の卵子から、より多くの移植可能な胚盤胞を生産するための技術について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 新技術(OPU)を用いた効率的な後継牛確保対策 (H27～28) 経膈採卵を利用した効率的な肉用繁殖牛生産技術の開発 (H28～32)			
対応の内容等 当所では、H27年度より試験課題として「新技術(OPU)を用いた効率的な後継牛確保対策」に取り組んでいます。また、H28年度より大阪府立大と共同で「牛の未成熟卵子の体外成熟培養方法の検討」に取り組んでいます。ご要望の「より多くの移植可能な胚盤胞を生産するための技術」はこれらの課題の中で対応していく予定です。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			